

運動会のすすめ

ERUSHI

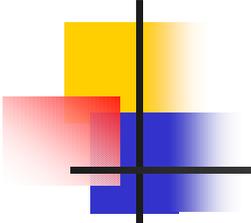
EVENT PRODUCE AGENCY COMPANY
LARGE CREATION FOR EXCITEMENT
KYOTO YAMASHINA 075-502-3113

株式会社 エルシー企画

〒607 京都市山科区勸修寺福岡町210

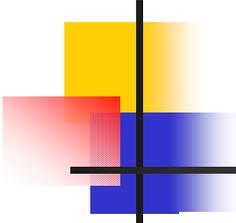
TEL (075)502-3113代・FAX (075)502-3123

当社では、これまでの豊富な経験から、企画はもとより、競技会場の設営・運営・進行まで一切を実施することができます。



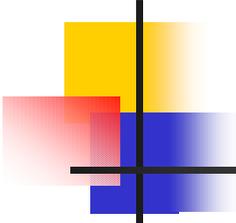
運動会の主旨、その傾向

- 運動会は企業の活性化を促進します。福利厚生の一環としての色々なイベントがありますが、汗を流し、スポーツを通じてのふれあいを深め、応援としての結束などを考慮すると、運動会ほど全社的なモラルアップが図れるものはありません。
- 運動会は、実施方法により会社内だけでなく、従業員の家族も参加することができ、又近隣の住民の皆さんにも参加していただくことができ、ひとつの福利厚生イベントというだけでなく、全社的な社会イベントとして捉えることができます。
- 従来の技能の優劣や体力の有無を争うものを主体的にするのではなく、参加者・応援者が楽しめる娯楽性のある競技が多くなり、家族を対象としたフェスティバル的な運動会が主流になってきました。
- 運動会にて参加人員を多くできるように考慮した運動会や、競技にでられない人のためにみんなが楽しめるレクレーションエリアを設ける運動会も多くなっています。体力測定・模擬店・ちびっこふあふあランド・ミニSL・イントロクイズ大会・ヒーローキャラクターショーなどを同時に実施するところも多くなりました。



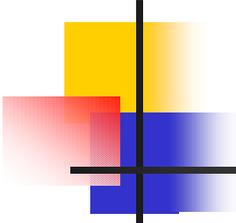
運動会企画のスタート

- まず、開催日、会場などを決定します。会場は1年前から受付する所や1カ月前でも空いている所など色々です。全社的な場合は各事業所からの交通の便も考慮しなければなりません。又、駐車場やバス移動のことも考えて実施場所を決定してください。大きさとしては、せめて200mトラックが作れる大きさはほしいです。次に、雨天の場合の対応です。中止するのか、順延するのかにより予備日の設定も必要です。
- 次に、開始時間と終了時間を設定してください。標準で9時30分開会式、4時00分閉会式が多いようです。遠いところから来られている方も多く、5時前には終了しています。
- 次に、チームの数を決めてください。やはりチーム対抗にすると盛り上がります。最低でも2チーム、ベストで4チーム、最高6チームが妥当ではないかと思えます。偶数のほうがトーナメント戦を開催しやすいという面もあります。
- 最後に、予想参加人数を設定してください。社員参加数が 人、家族 人くらい。近隣地元が 人、うちこどもたちが 人。そして、社員の平均年齢、男女比率を想定してください。最終的に何人くらいが競技に参加すると望ましいかも設定してください。



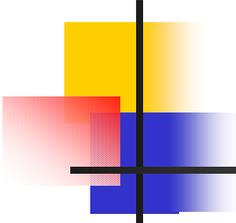
運動会プログラム (種目)づくり

- 種目 1アイテム 20分 ~ 30分 (準備時間も含め)ぐらいと想定します。開催時間が 4時間だとしたら 12種目ぐらいを想定します。
- 参加者の年齢層も考慮して種目を選定します。一番最初の種目として「牙ビッコレース」を実施するところが多いようです。楽しめる種目を前半にして、走る力量を争うものは後半に実施するプログラムにします。
- 種目の順番として、同じ人が続けて出なければならぬようなことのないよう、参加年齢層にメリハリをつけます。
- 種目例として
 - ・こどもレース 出勤 3分前レース ・50m走 ・トランプレース ・むかでリレー
 - ・1000mリレー ・おお縄とび 騎馬リレー ・ツーショットレース 綱引き
 - ・玉入れ ・イントロクイズ 組対抗リレー
- ひとつの種目 (レース)を何人で競走 (参加)し、何レース実施するかを決めます。それにより、ひとつの種目 (レース)に何人参加できるかを算出します。次に、全種目で何人参加になるかを算出し、全参加人数がこれでよいか検討します。参加人数が少ない場合はコースを増やしたり、距離を短くしたり、ペア参加にしたりして改善します。
- 会場によっては実施できない種目もあります。人口芝生の場所では綱引禁止の会場もあります。
- プログラムができると、次に各種目の得点表を作ります。この作業が一番難しい作業になります。得点が差が付きすぎると面白くなくなります。又、多人数で参加した綱引きや対抗リレーなどは高い得点設定にします。
- 各種目参加者に賞品を渡す場合もあります。この場合、等数によって差をつける場合と、等数に差をつけない場合などを事前に決めます。又、同じ賞品ばかり使用すると家族で同じになってしまいますので、賞品もバラエティに富んだほうがいいと思います。



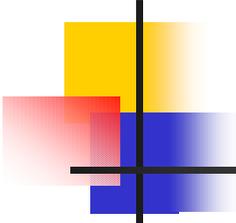
運動会プログラムの一例

- 9:30 開会式 各チームの出場者
- 9:50 第1競技 出勤3分前レース 男性10名・女性10名
- 10:15 第2競技 チビっ子レース オープン参加
- 10:30 第3競技 こんにちは赤ちゃん 男性5名・女性5名のペアで参加
- 10:50 第4競技 むかでリレー 男性22名・女性8名
- 11:15 第5競技 子供障害物レース オープン参加
- 11:35 第6競技 大爆笑！仮装レース 男性4名・女性2名・子供2名
- 12:05 第7競技 ウルトラYESNOクイズ 全員参加
- 12:25
- 12:50 アトラクション 人気キャラクターショー「アンパンマン」
- 1:30 第8競技 ツーショットレース 男性6名・女性6名
- 1:50 第9競技 チーム対抗騎馬戦 男性15名・女性5名
- 2:15 第10競技 アンパンマンたちと玉入れ競争 幼児と父兄
- 2:30 第11競技 綱引きトーナメント 総勢45名
- 3:00 第12競技 チーム対抗リレー 男性11名・女性10名
- 3:20 アトラクション 豪華景品が当たる！大抽選会
- 3:40 閉会式



運動会準備物の用意

- 準備物の中で一番最初に必要なものは
 - 会場レイアウト
 - プログラムパンフレット
 - チーム別出場者一覧表 (各チームが参加者名を記入する白紙フォーマット)
- 当日会場設営において必要なもの
 - 万国旗 ・社旗 ・テント ・机 ・椅子 ・白線 ・コーナークーン ・得点板 ・入場門 ・ゴミ箱
 - 音響機材 ・BGM
- 当日必要なもの
 - ピストル ・ゴールテープ ・ゼッケン ・等着順旗 ・はちまき ・看板関係 ・救急用品
 - 参加賞賞品 ・トロフィ ・賞状 ・看板関係 (集合場所 ・弁当 ・放送席 ・救急 ・来賓 ・
 - 観客席シート ・応援用品
 - 運営マニュアル書 ・司会者用台本 ・スタッフユニフォーム ・スタッフ腕章
 - 競技時の備品 (綱引用綱 ・リレー用バトン ・むかでレース用板などなど色々細かい)
- 各スタッフの準備物
 - スタート係 (ピストル) 景品係 (のし紙 ・テープ ・景品一覧表) 器具準備係 (器具一覧表 ・器具)
 - 集合係 (プラカード ・名簿 ・メガホン) ゴール係 (ゴールテープ ・着順券)
 - 得点係 (バインダー ・得点表 ・筆記用具 ・計算機 ・集計表 ・ふでペン ・賞状 ・サインペン)
 - 接待係 (ポット ・お茶 ・湯のみ ・弁当)



運動会の予算の目安

■	会場設営費	白線引き業務	200,000円
■	会場設営費	入り口アーチ・万国旗設営・テント・机	600,000円
■	会場設営費	音響関係	200,000円
■	競技用品費	バトン 綱 はちまき・ゼッケン	400,000円
■	賞品費用	賞品・トロフィ・賞状	500,000円
■	当日運営人件費	約40名	600,000円
■	印刷費用	プログラム 1000部	200,000円
■	会場清掃費	ゴミ処理費	100,000円
■	イベント費	模擬店 遊具 着ぐるみショー	800,000円
■	お弁当費	約500名のお弁当・お茶	500,000円
■	企画制作費	運営マニュアル・計画書 台本	300,000円

200mのトラックを使用し、約500名の方とその家族が参加する場合の目安
別途、交通費・運搬費が加わります。